

# 阿づまの光

A Z U M A N O H I K A R I



教主さまお作

備前緋襷茶碗

〔備前土〕

みな友よみなはらからよみな神よ

何を淋しみ何を憂へむ

【尊師 出口日出磨】

## カトリック平和国際集会への参加

人類愛善会副会長 宮下愛善

10月にローマで開催されたカトリック（聖エジディオ共同体主催）の平和のための国際集会に大本の代表として参加させていただきました。1986年から毎年続いている行事です。主催者側の要請を受け、大本から5年ぶりの参加となりました。今回はロシア・ウクライナ紛争を契機に、平和への強いメッセージを発信することが集会のテーマとなっています。世界の教団から約千人、日本からは天台宗、立正佼成会など7教団が出席しました。

集会の主な行事は、多数あるテーマ別のパネル討議と、教団ごと別々に行う祈り、最終日のローマ教皇とのコロッセオでのミサです。パネル討議では、事務局の手違いか、予定の討議と違うセッションで350人満席の会場でいきなり私の名前が呼ばれて壇上に上がるアクシデントがあり驚きましたが、おかげで2回もスピーチを行う機会に恵まれたのはラッキーでした。

万教同根、同じ源の神さまの下で皆が兄弟同胞であることや、また世界連邦の地球市民であると認識をすること、そして、通訳なしにエスペラント語で平和の祈りや対話を行うこと、それらは素晴らしいことだと思いませんかと問いかけ、地上天国実現のために一緒に祈りましょうという内容をお話ししました。ユダヤ教の方が、スピーチに感激したと握手を求めて来られ、気持ちが通じたことがわかって胸をなでおろしました。

バチカンの至近には大本ローマ支部があり、19人が集まる月次祭を厳粛に行いました。支部長のニコラ・コラオさんは、ローマ（カトリックの聖地）で大道場講座や日本文化の紹介講座を開いてほしい、人は自分が集める、と熱く語ってくださいました。本年みろく大祭教主さまのごあいさつ「大本の教えをもっと堂々と胸を張って宣べ伝えるべき時」を感じました。熱を持って大神さまのお光を出させていただくべき「時」は今です。



## 秋季大祭を執行

東光苑秋季大祭・新穀感謝祭・七五三詣りは、11月13日午前10時30分から、齋主・出口真人氏のもと執行された。

当日はコロナの感染対策に配慮しながら、参拝者を受け入れて執行し、206人が参拝した~~II~~写真左。

祭員は各主会の祭務部長が、伶人は二絃の会関東支部、大本神諭拝読は高野富輝夫埼玉主会長が、東光庵では添釜が開かれ高野社中が担当した。

祭典では信徒有志からの五穀や野菜の献納品もお供えされ、お下がりとして参拝者に下附された。

祭典後、七五三詣り6名のお子さんに橋本伸作東京宣教センター長から千歳飴が贈られた。引き続き橋本センター長があいさつ。

引き続き齋主の出口真人氏があいさつ・講話を行った。

なお、1階ロビーでは、梅干し、味噌、マイ箸、箸袋などの青松会バザーが催された。



## 家庭平安祈願祭を執行

家庭平安祈願祭（第31回）は、10月22日午前10時30分から、齋主・加藤道明祭務課長のもと執行された~~II~~写真左。

祭典では、齋主と祭員が全国から申し込まれた431件の氏名を全て読み上げ、家庭の平安と繁栄を祈念。

祭典後、西山桂一郎愛善宣教課長が「穏やかな家庭を築くために」と題して記念講話。

なお、全国から申し込まれた家庭平安祈願は祭典後1週間、東光苑ご神前で継続された。



## 東光苑オンライン講座

1月25日（水）19：00～

### 霊山弥仙山と岩戸開き ～120年前の神事～

講師：橋本伸作（大本東京宣教センター長）



大本の草創期には、大本独特のさまざまな神事が行われています。一般的には馴染みのないものもありますが、大本開教の意義や因縁を示すために必要な事柄でした。弥仙山岩戸開きの神事もその一つ。明治36（1903）年に、出口なお開祖、出口王仁三郎聖師、出口すみこ二代教主、そして1歳となる出口直日三代教主がそろって弥仙山に参拝した神事についてお話しします。

大本東京本部ホームページをご覧ください！

## 東光苑オンライン講座

### 配信日変更のお知らせ

令和5年1月～

毎月25日

午後7時に配信！



## 正体山秋季大祭

10月30日（日）、一宮浅間神社（山梨県西八代郡）の御神体山と仰ぐ正体山山頂にて、正体山秋季大祭が執行され、麓の遙拝所を含め、26人が参拝した。

この正体山は、西暦846年の富士山噴火の際、富士山のご祭神、木の花咲耶姫命が遷座されたとの伝承がある大本本部所有の霊山。山頂の石の宮には四代教主さまご染筆の御神体が奉斎されている。三代教主

さまのご命により、昭和40年から、毎年5月と10月に山梨主会を中心とした有志にて例大祭が励行されている。

祭典前日には、献勞奉仕団が結成され、参道の整備や樹木の伐採、祭場の整備などが行われた。

## 東光苑七草粥について

3年ぶりに令和5年の東光苑七草粥を、開催いたします。

開催日 令和5年1月7日（土）

開催時間 午前10時30分～15時

※ただし、状況によっては変更する場合がありますのでご了承ください。

大勢の皆さまのご来苑をお待ちしております。

## 1月 東光苑祭典・行事予定

1日（日）午前7時～  
新年祭・年賀交換

1日～3日（日～火）午前9時30分～  
年賀

7日（土）午前10時30分～  
東光苑七草粥

8日（日）午前10時30分～  
東光苑月次祭・成人式典・合格祈願祭

19日（金）午前10時30分～  
聖師毎年祭（75年）

25日（水）午後7時～  
東光苑オンライン講座（配信）  
講題 霊山・弥仙山と岩戸開き

講師 橋本伸作（東京宣教センター長）  
～120年前の神事～